



滋賀県消防操法訓練大会 湖南省消防団第5分団が第3位

7月31日、滋賀県消防学校(東近江市)で滋賀県消防操法訓練大会が行われ、湖南省消防団第5分団がポンプ車の部で3位と大健闘しました。

大会当日は厳しい日差しが照りつけるなか、春から連日取り組んできた早朝練習などの成果を出し切り、チーム一丸となって見事な操法を披露しました。



出場選手

指揮者	谷口	卓
1番員	北村	仁史
2番員	竹内	友希
3番員	山本	正吾
4番員	吉川	昌志
補助員	吉川	徹
補助員	岡本	賢次



▲左から岡本さん、吉川徹さん、吉川昌志さん、山本さん、竹内さん、北村さん、谷口さん

今年も白熱！泥りんピック

7月24日、下田泥りんピック2016が開催されました。このイベントは、湖南省の友好交流都市北海道比布町で開催されている「どろんこバレー」をヒントに企画されたもので、今年で4回目。

市内外から31チームが参加し、バレーボール、ビーチフラッグ、尻相撲、玉入れをトーナメント方式で競いました。バレーボールでは、参加者がボールを追いかけて泥に飛び込み、全身泥だらけになりながら熱い戦いを繰り広げていました。

快晴の夏空のもと、観客からも拍手や声援が送られ、暑さに負けない盛り上がりとなりました。



世界に1つだけの作品 石ころアート

8月6日、じゅらくの里福祉パーク館で石ころアート講座が行われ、夏休み中の親子などが参加しました。



大きさや形も様々な石を手に、まずは動物図鑑や雑誌などを見ながら下絵を描きます。作品が決まったら筆を手にアートにチャレンジ。「どんな色にしようか」と悩む姿も見られましたが、石ころは見る見るうちに色鮮やかな作品に変身。かわいい猫の顔や新幹線はやぶさ号などたくさんのオリジナル作品ができあがりました。

周りにいる人ができることを考える いじめをなくそうサミット

8月3日、市内小中学校児童生徒、保護者、教職員117人が集まり「第6回いじめをなくそうサミット」を開催しました。参加者はいじめの場面に遭遇したとき、どのような行動がとれるのかを話し合い、「いじめを先生に言ったら、逆に自分が周りの人からいじめられるかもしれない」など悩みながら考えを深めました。

その後各校ごとに作成する「いじめをなくすためのアピール文」では「あかんことはあかと自分の言葉で伝え合える学校をめざす」「他人の気持ちをしっかり考えて行動する」といった強いメッセージが作られました。また、保護者のアピール文には「子どもの話を最後までしっかり受けとめる」などがありました。

今後いじめや差別のない学校づくりがさらに広がっていくことを願っています。





甲子園で力を出し切る！ 明德義塾高校(高知)西村舜さん



甲西中学校出身で高知県の明德義塾高校野球部の西村舜さん(3年)が夏の全国高校野球に出場し、ベスト4という結果を残しました。

三雲東スポーツ少年団で野球をはじめ、甲西中学校卒業後、明德義塾高校へ。部員数140人を超える強豪野球部に所属し、1年生の冬から早いときは午前3時に寮を出て早朝練習に励んでいたというほど努力家の西

村さん。昨年に引き続き2年連続の甲子園出場となりました。

明德義塾は準決勝で作新学院(栃木)と対戦し10対2で敗れましたが、西村さんは三回にホームランを打つなど練習の成果を出しました。

試合後、西村さんは「甲子園の大観衆のなかで野球ができたことを幸せに思います。お母さんをはじめ、これまで支えてくれた人たちに感謝しています」と話していました。

テニスで全国大会に出場 四宮慧斗さん

四宮慧斗さん(甲西北中1年)が関西ジュニアテニス選手権大会で3位になり、8月10日～16日に行われた全日本ジュニアテニス選手権大会に出場しました。

大会後、四宮さんは「念願の全国大会に出場し、一回戦を勝利できてとても嬉しかったです。二回戦ではシード選手に負け、全国レベルの違いを突き付けられました。この経験をいかし、より一層テニスを楽しみ、強くなれるよう追求していきたいです」と抱負を語ってくれました。



山中慎介選手、11度目の防衛へ

■日時 9月16日(金)

午後8時～試合開始予定

■場所 エディオンアリーナ大阪(大阪府立体育館)

■対戦相手 アンセルモ・モレノ(同級1位、パナマ)

※試合は読売テレビで生放送されます。皆さんの熱い応援をお願いします。



たちまち!おこし隊

湖南省地域おこし協力隊の活動をたちまちご紹介!

近藤 淳志

『太陽熱還元消毒』しました

農作物を作っていると一番の問題は病害虫だと思います。現在、有機栽培作物の作り方をマイファームのアグリノベーション大学で勉強していて、7月の初めに太陽熱還元消毒を習いました。

太陽熱還元消毒とは夏の暑い時期に堆肥とふすまや米ぬかなどを畝に混ぜ込み、大量の水をかけて透明マルチを上からかぶせるといふ農薬を使わない土壌消毒法です。この方法をする、畝が高温になり、中の雑草の種や虫の卵を死滅させることが出来るのです。先生によるとニンジンがよくできるとのこと。少し遅いのですが私もそれを実践してみました。



混ぜ込む前



マルチ後

私の場合は市販の堆肥と米ぬかを混ぜ込んだのですが、全然足りなさそうだったので上からもみ殻をまいて大量の水をかけました。その結果はちょうど広報こなんの発行の頃にしかわからないので載せることはできませんが、もし興味があれば「太陽熱還元消毒」を調べて来年にでも実践してみてください。

湖南省地域おこし協力隊 で検索! TEL/FAX: 0748-69-6707 EMail: konan.okoshi@gmail.com